

ヘアドライヤーから発火！？ 取り扱いに気を付けて

国民生活センターより、ヘアドライヤーの取り扱いについての注意喚起がありました。

入浴後、ヘアドライヤーを使っていたら、コード部分から火花が散り、右腕の内側に軽いやけどを負った。



1年半前に購入したヘアドライヤーを使用したら、火花が散った。火花でドライヤーが焦げ、カーペットと衣服にも焦げ跡が残った。メーカーに連絡すると、本体にコードを巻き付けて収納していたことが原因だと言われた。

消費者へのアドバイス

ヘアドライヤーのコードは、使用や保管の際に、屈曲やねじれが繰り返されることにより損傷し、発煙や発火などの原因となることがあります。

コードに損傷がみられる、一部だけ熱くなる、使用中にヘアドライヤーが止まるなどの異常に気付いたら、すぐに使用をやめましょう。
定期的にコードや本体に異常がないか確認することも大切です。

基本的な使い方は分かっている場合でも、使用の際は取扱説明書をよく読み、注意・警告事項を正しく理解しましょう。



最近、「SDGs」という言葉をよく聞くようになりました。江南市でも「SDGsでつながるまちづくり」を目指しています。

SDGsは「環境」「社会」「経済」の3つに大きく分けることができ、互いに支え合うことが大事であると言われています。

その中で私たち消費者として、ちょっとした心がけでできることとして、

- ・食べ残しをしない
- ・買い物にはマイバッグを持っていく
- ・ゴミを減らす生活をする



この3つについて、まずは心がけてみませんか？

また、地元のスーパーで買い物をするなど、地産地消は地域活性化につながります。

小さなことかもしれませんが、続けていけたらいいなと思います。

※消費生活協力員は、消費者トラブルを未然に防ぐための活動や、消費生活に関する地域の見守り活動を行っています。

消費生活パネル展示を開催しています

市内の消費者団体等による消費生活パネル展示を、12月12日(月)～12月16日(金)まで、江南市役所1階ロビーにて開催しています。来庁時にはぜひご覧ください。

参加団体

- ・江南市ふじの実会
- ・仲良し会
- ・江南市消費生活協力員

